



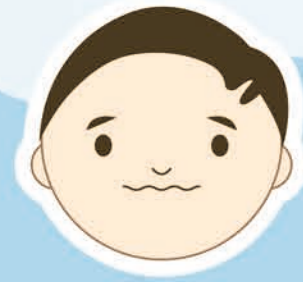
町田市が持っている資産は古くなっているのかな？



町田市はこれからどのように事業に取り組んでいけばいいのかな？



町田市の事業にはどのような課題があったのかな？



町田市はどのような事業にお金をかけているのかな？



# 町田市 課別・事業別 行政評価シート の見方

全ての課別・事業別行政評価シートは町田市ホームページで！

町田市 課別・事業別行政評価シート

検索



「課別・事業別行政評価シート」では、明らかになった財務情報に、事業の目的や成果を交えたコスト分析を行うことにより、「求められている事業の成果があがっているか」といった有効性の検証や、市民の皆様から納めていただいた「税金が効率的に使われているか」といった効率性の検証を行うことができます。

このパンフレットでは国際版画美術館のシートを題材とし、課別・事業別行政評価シートの見方を紹介します。

■課別・事業別行政評価シートとは  
従来の地方自治体の決算では、「土地・建物などの価値がわからない」「建物などの経年劣化のコストを把握できない」「現金を支出しないコストを把握できない」といった問題点がありました。

この問題点を解決するために町田市は、2012年4月から市区町村としては全国で初めて日常の会計処理の中で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。これによって町田市の組織や事業単位で保有している資産・負債の情報や、フルコスト情報といった財務情報を迅速に把握できるようになりました。

さらに町田市では、新公会計制度を導入することにより明らかになったこれらの財務情報に、組織の使命や事業目的、事業の成果といった非財務の情報を加えることにより、マネジメントに活用が可能な「課別・事業別行政評価シート」を作成しています。

町田市財務部財政課  
東京都町田市森野2-2-22  
電話 042-724-2149  
刊行物番号15-34

2015年8月  
町田市

このパンフレットは、1,000部作成し、1部あたりの単価は94円です（職員人件費を含みます）。



町田市の課別・事業別行政評価シートは  
 ① 課題解決サイクルを意識できる様式です。  
 ② 行政コスト計算書・貸借対照表は経年比較ができる様式です。

**組織の使命**  
 この課が、誰のためにどのように役立つのかを簡潔に記載しています。

2014年度 課別行政評価シート

部署名	文化スポーツ振興部	課名	国際版画美術館	産出科目	国際版画美術館費
-----	-----------	----	---------	------	----------

**I. 組織概要**

組織の使命  
 優れた美術作品に触れる機会、および学習、創作、発表を促します。また、貴重な文化財である版画作品を収集・保管・展示し、良質な情報発信を行います。これにより、町田市の文化の発展に貢献します。

所管事務  
 ◆美術作品等の収集、保管及び展示会、講演会等の事業  
 ◆版画に関する専門的、技術的な調査研究及び情報の提供  
 ◆図録等の作成及び販売、美術作品の寄贈及び寄託  
 ◆市民の美術学習及び団体活動の援助、施設及び設備の整備

基本情報  
 根拠法令等 町田市立国際版画美術館条例  
 2012年度 2013年度  
 利用料金収入 (単位:千円) 40,569 32,500  
 受益者負担比率 11.6% 10.8%

コストパフォーマンスの高い企画が求められているんだね。

**事業の成果**  
 課の全体的な成果を表す指標について、目標と実績に分けて記載しています。併せて、成果の説明をしています。

**II. 2013年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題**

◆2012年度の開館25周年大型企画を例外とすれば、例年の事業全体では安定した入館者数、施設使用料、図録等販売収入が維持できています。しかし今後、集客力が高くお客様の満足度の高い企画を実施するために、一層のコスト削減と都支助金や各種助成金の積極的な確保を行う必要があります。  
 ◆来館者以外にもサービスを提供できるよう図録等の販売拡大、収蔵作品情報提供システムの検討・充実することによる利用者の拡大が課題となります。  
 ◆2015年3月から予定の大規模修繕において可能な範囲で関連する施設整備を行い、今後の維持補修費削減に努める必要があります。

**III. 事業の成果**

成果指標名	単位	区分	2012年度	2013年度	2014年度	目標(達成時期)	成果指標の定義
国際版画美術館展覧会観覧者数	人	目標	—	(92,000)	(87,000)	100,000 (2020年度)	企画展および常設展示室ミニ企画展の観覧者数の合計
		実績	112,442	97,829	93,390		
観覧料、施設使用料収入	千円	目標	—	—	—		施設使用料の収入
		実績	20,308	15,822	13,826		

◆2014年度は7回の企画展および4回のミニ企画展を実施しました。年間の展覧会観覧者数および月から大規模修繕工事開始による全館休館のためですが、観覧者数の月あたり平均は、逆に増加しています。企画展は、①一般にも著名な美術家(ピカソ展)、②知名度では劣るものの近年評価が高い作家(展)等を開催。アンケートの結果では、幅広いテーマにより遠方からの来館者や、スピーカーの獲得に成功しています。◆企画展ごとに講演会、コンサート、さらに新たな試みとしてモダンダンスのパフォーマンスを実施し、作品の満足度向上に寄与しました。◆普及事業では版画教室・講座等開催、版画研修会等による学校教育活動への協力を行い、「作る楽しさ」を体験してもらいました。

ピカソの企画展等に力を入れたんだね。

**行政コスト計算書の特徴的事項**  
 行政コスト計算書に計上されている特徴的な勘定科目について、決算額の主な内訳と主な増減理由を記載しています。

**IV. 財務情報**

**① 行政コスト計算書** (単位:千円)

勘定科目	2012年度	2013年度	2014年度	差額
	A	B	C	B-A
人件費	117,069	117,011	126,682	9
うち時間外勤務手当	2,860	2,690	4,394	1
物件費	155,956	131,863	121,335	△ 10
行政費用	111,931	93,322	81,331	△ 1
うち委託料	21,735	1,873	4,055	2
維持補修費	0	0	0	0
補助費等	7,243	5,357	17,455	12,098
減価償却費	38,547	38,547	38,547	0
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0
賞与・退職手当引当金繰入額	8,865	6,178	19,952	13,774
行政費用小計(b)	349,417	300,829	328,026	27,197
特別費用(g)	0	0	0	0
特別収入小計(f)	0	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)-(h)	0	0	0	0
当期収支差額(e)+(f)-(g)-(h)	△ 298,118	△ 268,298	△ 299,078	△ 30,780

**② 行政コスト計算書の特徴的事項**

勘定科目	金額	勘定科目	金額
決算額の主な内訳	町田市立国際版画美術館総合管理業務委託 60,660千円	決算額の主な内訳	バプロ・ピカソ展巡回展負担金 7,000千円
	展覧会展示撤去作業業務委託 1,383千円		谷中安規展 負担金 6,000千円
	「バプロ・ピカソ」展 図録購入 2,940千円		第16回「ゆうゆう版画美術館まつり」負担金 1,000千円
	「谷中安規」展 図録購入 2,520千円など		第39回全国大学版画展分担金 660千円など
主な増減理由	2012年度の開館25周年大型企画に対して2013年度以降は通常規模で実施。2014年度の事業費は、一部負担金により実施したため、物件費全体が10,528千円減少。	主な増減理由	2015年4～6月に休館するため、施設使用料(1年前に予約、支払い)802千円減少。2015年3月休館により観覧料1,200千円が減少。

**単位あたりコスト分析**  
 事業の効率性を分析するためや、事業のボリュームを把握するため、単位あたりのコストを算出しています。

**③ 単位あたりコスト分析** ※単位あたりコストは、各年度の「行政費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。

指標名	単位	年度	実績	単位あたりコスト	対前年度	単位あたりコストの増減理由
国際版画美術館年間入館者数1人あたりコスト	人	2014	154,247	2,127	247	2015年3月から休館のため入館者数は減少し、行政費用も増加したため2013年度より247円増加しました。
		2013	159,989	1,880	△ 12	
		2012	184,707	1,892		
開館1日あたりのコスト	日	2014	281	1,167,352	181,027	2015年3月から休館したため、2013年度より1日あたりのコストが181,027円増加しました。
		2013	305	986,325	△ 155,561	
		2012	306	1,141,886		

**④ 貸借対照表**

勘定科目	2013年度末	2014年度末	差額	勘定科目	2013年度末	2014年度末	差額
	A	B	B-A		A	B	B-A
未収金	0	0	0	流動負債	4,588	4,588	0
不納欠損引当金	0	0	0	選付未済金	0	0	0
その他の流動資産	0	0	0	地方債	0	0	0
有形固定資産	1,149,587	1,111,040	△ 38,547	賞与引当金	4,588	4,588	0
土地	0	0	0	その他	0	0	0
建物(取得価額)	1,927,337	1,927,337	0	固定負債	102,600	102,600	0
建物減価償却累計額	△ 1,040,762	△ 1,079,309	△ 38,547	長期借入金	53,500	53,500	0
工作物(取得価額)	263,012	263,012	0	地方債	105,818	105,818	0
工作物減価償却累計額	0	0	0	賞与引当金	3,218	3,218	0
無形固定資産	0	0	0	その他	0	0	0
有形固定資産	0	0	0	純資産の部	2,438,791	2,342,677	△ 96,114
土地	0	0	0	基本財産	2,342,677	2,342,677	0
建物(取得価額)	0	0	0	純資産	2,438,791	2,342,677	△ 96,114
工作物(取得価額)	0	0	0	負債及び純資産の部合計	2,545,979	2,507,432	△ 38,547
工作物減価償却累計額	0	0	0				
無形固定資産	0	0	0				
建設仮勘定	0	0	0				
その他の固定資産	1,396,392	1,396,392	0				
資産の部合計	2,545,979	2,507,432	△ 38,547				

美術館の建物は1年間で約4,000万円も価値が減っているのね。収蔵美術品の方が建物よりも資産価値があるのね。

**⑤ 貸借対照表の特徴的事項**

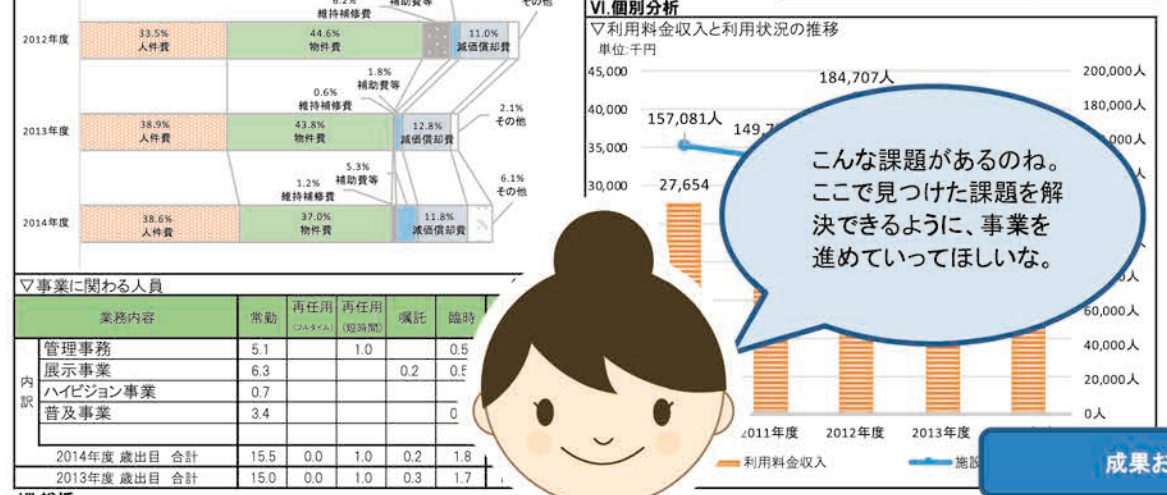
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
美術館	1,927,337千円	屋外彫刻4点	30,000千円	収蔵美術品	1,296,392千円
		my sky hole88	30,700千円	定額運用基金	100,000千円
		トキオコシ	27,700千円		
		開かれた宇宙	174,612千円		
		噴水・シーソー			
主な増減理由	所管する建物の減価償却費 △38,547千円	主な増減理由	美術工芸品類は減価償却対象外資産	主な増減理由	美術工芸品類は減価償却対象外資産

**貸借対照表の特徴的事項**  
 貸借対照表に計上されている特徴的な勘定科目について、決算額の主な内訳と主な増減理由を記載しています。

**⑥ キャッシュ・フロー収支差額集計表** (単位:千円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
行政サービス活動収入	28,948	社会資本整備等投資活動収入	13,000	財務活動収入	0
行政サービス活動支出	285,413	社会資本整備等投資活動支出	0	財務活動支出	0
行政サービス活動収支差額(a)	△ 256,465	社会資本整備等投資活動収支差額(b)	13,000	財務活動収支差額(c)	53,500
				収支差額 合計(a)+(b)+(c)	△ 189,965
				一般財源充当調整額	189,965

**キャッシュ・フロー計算書**  
 現金収支の状況を把握するため、課別行政評価シートではキャッシュ・フロー計算書を記載しています。



こんな課題があるのね。ここで見つけた課題を解決できるように、事業を進めていってほしいな。

**VII. 総括**

**① 成果および財務の分析**

◆2014年度は2015年3月から全館休館したことで年間の利用者数、観覧料収入が減少しましたが、前年度より月平均では700人程増加しました。手当引当金繰入額や人件費の増加により、受益者負担率は8.8%に下がりました。  
 ◆委託料等の物件費が全体の37%で減少しましたが、これは展覧会の費用が他美術館との巡回展により負担金(補助費等)となったためです。  
 ◆人件費の比率は変わりませんが金額は増加しました。賞与・退職手当引当金繰入額も増えたため全体の行政費用は27,197千円の増加となりました。  
 ◆開館から28年経過し設備修繕が顕著しました。空調設備関係修繕が年5回の計1,511千円、電気設備関係修繕が年4回の計1,200千円増加しました。

**② 2014年度末の「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題**

◆2014年度も前年度に引き続き、事業全体では安定した入館者数、施設使用料、図録等販売収入が維持できました。しかし今後、集客力が高くお客様の満足度の高い企画を実施します。維持補修等のさらに一層のコスト削減と都支助金や助成金の確保が必要です。  
 ◆誰もが気軽に美術館を利用できるよう、版画教室等各種講座や学校教育活動への協力等の教育普及活動の充実が求められます。  
 ◆来館者以外にもサービスを提供できるよう図録等の販売拡大、収蔵作品情報提供システムの検討・充実することによる利用者の拡大が課題です。

**成果および財務の分析**  
 当年度の取組みを振り返り、成果と財務情報を交えて総括をしています。

**「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題**  
 「成果および財務の分析」を受けて、組織の使命を実現するための課題を記載しています。